

患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサートのお知らせ

- 7月 6日(金) 中川 順子さん・鈴木寛一さん他(七夕 うたのコンサート)
- 27日(金) 丹羽 千夏さん他 (ピアノ演奏会)
- 8月 7日(火) Y's Singers (うたのコンサート)
- 23日(木) 笈川 寛繁さん (オーボエ演奏会)

中央棟1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非、お越しください。

コンサート予定表は、各病棟掲示板および会計前ロビーにて掲載しております。曲目につきましては、コンサート当日、会計前ロビーにて掲示いたします。ご確認ください。

患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。改善すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させて頂きました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。(=進捗報告)

ご意見・ご要望	改善等
清掃について	『2階の西棟との渡り廊下の手すりがかたがたして触りたくない。』『毎回非常に不愉快。1階、2階男子トイレの便器下の床が非常に汚い。よく見ると便器も汚れている。毎日清掃していませんよね』とのご意見をいただきました。 現場の確認を行い、清掃のタイミングの見直しと清掃の徹底について、清掃部門と検討いたしました。ご意見ありがとうございました。
コンサートの選曲について	『3月のコンサート2回聞かせていただきました。明るい楽しい曲で病気を治して頑張るぞー！という曲をお願いしたい。癒し系の曲は気持ちが暗くなってしまうので。』とのご要望をいただきました。 コンサート30分間の演奏プログラムの構成につきましては、演者さんに一任しております。病院という場所にふさわしい曲を選曲くださるようお任せしております。 今後、演奏構成の際の要望として、患者さまからご意見を取り入れさせていただくことを検討させていただきますが、基本は演者さんにお任せしていることをご理解ください。
喫煙について	『面会者用のトイレがタバコの臭いが充満している』とのご意見を複数の病棟からいただきました。 当院では、昨年10月1日より敷地内全面禁煙となっております。新しく禁煙のポスター等を作製し、禁煙徹底のご案内させていただきます。ご理解とご協力のほどお願いいたします。

各病棟に設置してございます、「患者さまご意見/リスク提案カード 投入箱」を一新しました。今までのプラスチック製のものから木製のものに交換いたしました。

編集後記

昨年、流行語にもなった「メタボリック・シンドローム」ですが、直訳すると「代謝に関する症候群」「内臓脂肪症候群」「男性85cm以上、女性90cm以上のウエスト値」となります。ウエスト値の考えは様々ですが、少なくとも日常生活の中で健康維持を意識する人が増えたことは事実です。

健康関連の商品も次々と出現し、特定保険用薬品、乗馬運動機器、抗肥満漢方薬、そして今社会現象になっている軍隊式エクササイズ「ピリーズ・ブートキャンプ」。実際にやってみるとこれがかなりハードで、決して短期間で“楽”して痩せられる代物ではありません。「健康は1日にして成らず。」運動にしても食生活の改善にしても「続けること」が大切です。

広報委員会 委員 小川 孝行

北部病院だより 第47号

平成19年6月30日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

北部病院だより 第47号

第47号【2007/06/30 発行】

発行者：昭和大学横浜市北部病院

巻頭言

『前立腺癌とPSA検診』

泌尿器科 准教授 井上 克己

イベント情報

昭和大学公開講座

医師の配属・異動・退職

診療統計

臨床研修医の紹介

病院からのお知らせ

ロビーコンサートのお知らせ

患者様からのご意見・ご要望



「ローザ都筑」が今年も満開です。

巻頭言

『前立腺癌とPSA検診』

前立腺癌が増えています。前立腺癌が男性癌死の2位を占める米国では50歳以上の男性の6人に1人が生涯に前立腺癌と診断されるという推計がされています。米国ほどではありませんが日本でも前立腺癌と診断される人が多くなっています。これには2つの理由があります。ひとつは食生活の変化です。脂肪を多く含む欧米風の食事習慣が前立腺癌の一因です。食生活の欧米化によって日本人の前立腺癌発症率も欧米人に近づきつつあるものと考えられています。もうひとつの原因(主な原因ですが)はPSA検査の普及によって前立腺癌の早期発見が進み、いままでは見過ごされていた前立腺癌も発見されるようになったからです。

ところで前立腺とはいったいどこで何をしている臓器かご存知ですか？前立腺は膀胱からつづく下部尿路の一部で、精液を作る臓器で精路の一部でもあります。尿路と精路の交わる部位です。男性にしかありません。高齢男性の方はこの部位が肥大し排尿の妨げになることがあります(前立腺肥大症です)。この臓器に発症する癌が前立腺癌です。前立腺癌には臨床的な特徴があります。悪い特徴としては非常に頻度が高い癌だということです。よい特徴としては進行があまり早くないことと高齢者に限られるということです。前立腺癌は50歳台からみつきり年齢とともに増えていきます。剖検の報告では80歳以上の男性の前立腺には半数の人に前立腺癌が存在するそうです。これらの方は前立腺癌とは知らずに一生を送ったこととなります。前立腺癌の根治をめざすなら一番確実な治療は手術です。放射線療法も有効です。根治性には議論がありますが抗男性ホルモン療法(男性ホルモンがない状態では前立腺癌は進行しないことが多い)も有効です。

PSA(前立腺特異抗原)検査が横浜市の検診に組み込まれたことから、この検査が前立腺癌の早期発見に有効なことをご存知の方も多いと思います。しかしPSAが陽性だと前立腺癌だというような単純なものではありません。PSAは前立腺癌だけが作り出す物質ではありません。もともとは前立腺で作られ精液中に分泌され、精液を固まりにくくする役割を担うたんぱく質です。前立腺が大きい人(前立腺肥大症)や前立腺が充血している人(炎症、尿閉状態)では血液中のPSAの値が高くなりがちです。PSAの値が高い場合、値に応じて前立腺癌である確率が高まります。PSAの値が高い場合は組織検査をして前立腺癌でないことを確かめる必要があります。PSAが4ng/ml以上の方が前立腺の生検を施行すると30-40%前立腺癌が検出されます。当院では1泊2日で前立腺生検をしています。週5日1人づつなので年250人の生検をしています。その結果年約100人が前立腺癌と診断されます。

PSA検診で見つかる前立腺癌の多くは初期の癌です。前立腺癌はあまり進行の早い癌ではありませんが、若年者ではいずれ命にかかります。しかし高齢者の場合初期の前立腺癌は生命予後に関与しないことも多いと考えられています(もちろん高齢者でも進行した段階で見つければ命にかかります)。前立腺癌の治療方針を決める上で重要なのは進行度と年齢なのです。前立腺癌を早期に発見する必要があるのは50歳台、60歳台の男性です。この年代の方は手術や放射線療法など積極的な治療が望めます。70歳台は微妙ですが、80歳台では早期の前立腺癌を一生懸命に見つける必要性はありません。PSA検診が必要なのは前立腺肥大症の症状のある70歳台以上の男性ではなく、50歳台、60歳台の男性に必要な検査です。男性諸君、50歳になったら排尿障害のあるなしに関係なく、年1回PSA検査を受けてください。

北部イベント

昭和大学公開講座

西棟4階 講堂

昭和大学公開講座「暮らしと健康」を主題として、昭和大学横浜市北部病院公開講座を5月12日(土)に開催いたしました。58名の方がご参加されました。

演題1「血尿～尿潜血陽性とされたら～」演者：泌尿器科 准教授 井上克己
司会者：内科 教授 衣笠えり子
健康診断で尿潜血反応陽性と指摘されたときはどうすべきなのかを「血尿とは」「尿潜血反応とは」といった概論から「血尿をおこす疾患」「どの科で診察を受けるのか」「血尿の際に行う検査」など具体的な講話がありました。血尿を「顕微鏡的血尿」「肉眼的血尿」さらに「症候性」「無症候性」に分類し、それぞれについて診断、経過観察が解説されました。受講者の方は熱心にテキストにメモをとられ、「わかりやすく、よく理解できた」「今後の参考になる」と好評でした。質疑応答では腎臓疾患を専門とする司会者とともに予定時間を超えて行われました。



井上医師講演風景

演題2「高齢者の転倒予防とフットケア」演者：リハビリテーション科 講師 真野英寿
司会者：メンタルケアセンター 准教授 堀宏治
介護保険の理念に基づく転倒予防を前置きとし、環境と生活習慣に注目したりリハビリ専門医としての転倒予防の講話がありました。幕末、明治時代の写真を振り返りながら100年間で現代の日本社会が転倒しやすい環境に変化したことが指摘され、新しい転倒予防が提案されました。受講者の方から今まで自分が持ち合わせなかった考えに触れる事ができてよかった、というご意見がありました。質疑応答では実際に行なわれているフットケアの手順を再度紹介し、認知症を専門とする司会者からも転倒予防について補足説明がありました。



真野医師講演風景

次の公開講座は10月13日(土)に開催予定です。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

6/1付【4/2～6/1】

【他病院より】	富田 英 (循環器センター) 札幌医科大学 昭和54年卒	小山 壽美江 (産婦人科) 琉球大学 平成11年卒	石野 幸三 (循環器センター) 岡山大学 昭和61年卒
	上原 大志 (整形外科) 琉球大学 平成12年卒	齋藤 理恵 (呼吸器センター) 東京女子医科大学 平成12年卒	三井 湖麻江 (皮膚科) 北里大学 平成12年卒
【附属病院より】	松永 優子 (メンタルケアセンター) 医学部 精神医学教室より	清家 直人 (整形外科) 藤が丘病院 整形外科より	

異動・退職医師

6/30付【4/30～6/30】

【退職】	木庭 雄至(救急センター)	松久 孝行(整形外科)
【長期出張】	工藤 恵子(消化器センター)	
	吉田 典世(内科)	土屋 静馬(内科)
【転出】	佐々木 雅美(皮膚科)	藤が丘病院へ)

診療統計

2007年4.5月統計データ()内は1日平均

	外来患者数	入院患者数	救急車搬送件数	手術件数	診療実日数
4月	31,341人(1,305.9人)	17,421人(580.7人)	370人(12.3人)	473件(23.7件)	入院30日 外来24日
5月	33,149人(1,381.2人)	17,914人(577.9人)	369人(11.9人)	486件(23.1件)	入院31日 外来24日

戸嶋 洋和 昭和大学卒業
7月 消化器センター(内)
8月 同上

はじめまして、研修医1年目の戸嶋洋和です。昭和大学出身で学生時代はバイトに明け暮れていました。現在は救急センターで研修をさせていただいています。病棟での研修が始まり数週間が経ちましたが、電子カルテの使い方や処方・オーダーの出し方など初めて行うことが多く、日々勉強させていただいております。救急センターは病棟と外来の両方を一度に学ぶことができ、医療の仕組みを理解するには大変よい科であると感じています。二年間の研修は長いようで短いものだと思いますので、医療者としての技術・知識・心を積極的に習得していきたいと思っています。少しでも早くシステムに慣れ、皆さんの足を引っ張らないようにしていきますのでよろしくご指導いただければ幸いです。

野村 亮介 金沢医科大学卒業
7月 循環器センター(外)
8月 同上

はじめまして、金沢医科大学出身の野村亮介と申します。この度、北部病院で2年間研修させて頂くことになりました。学生時代はテニス部に所属していました。今は、総合内科で研修をしています。研修医としての生活も1ヶ月が過ぎましたが、まだまだ慣れない事が多く、日々が勉強です。出来ることを一つ一つ増やしていき、患者様のお役に立てるよう精一杯頑張りますので、御指導の程よろしくお願い致します。

丸山 博史 昭和大学卒業
7月 循環器センター(内)
8月 同上

今年から2年間昭和大学北部病院で研修させていただきます丸山博史です。医師になってからの最初に研修させていただく科は循環器外科です。高度な手術からその後の管理と、総合的な知識が必要とされる科だと思います。初めは何もできず迷惑をかけると思いますが、日々精進してがんばりたいと思いますので宜しくお願いします。2年間の研修はとても大切な時間だと思うので、積極的に医療に参加していき様々なことを体験し吸収していきたいと思っています。よろしく申し上げます。

長濱 隆明 埼玉医科大学卒業
7月 内科
8月 同上

はじめまして、長浜隆明です。出身大学は、埼玉医科大学です。出身が横浜で近くであり、北部病院が出来たときから、北部で研修をしたいと思っていたので、とても期待に胸を膨らませています。研修医一年目として、何からなにまで分からないことだらけで、御迷惑をおかけすることが多々あるとは思いますが精一杯頑張っていこうと思っています。今後御指導よろしく申し上げます。

堀内 一哉 山形大学卒業
7月 呼吸器センター(内)
8月 麻酔科

皆様はじめまして。山形大学出身の堀内一哉と申します。2年間北部病院で研修させていただくことになりました。2年前に病院見学させていただいたときからこちらで研修させていただきたいと考えておりました。現在呼吸器センターで研修させていただいております。研修医としての生活がこの4月から始まり、自分の無知と無力さを日々痛感し、多くのご迷惑をかけておりますが、病院スタッフ皆様のお力添えのおかげで新鮮で充実した毎日を過ごすことが出来ており、改めてこの病院を研修先に選んでよかったと思っています。2年間という非常に短い限られた時間ですが、医師としての心構えや、知識、技術など出来るだけ多くのことを吸収していき、皆様から信頼いただける医師を目指していきたいと考えております。これから2年間、ご指導の程よろしく願いいたします。

矢川 裕介 昭和大学卒業
7月 消化器センター(内)
8月 同上

はじめまして、昭和大学出身の矢川裕介です。大学時代は硬式テニスをやっていましたが、北部院内にも大学からのなじみの先輩方がおり、大変嬉しく思っています。病棟に出ればや一ヶ月が経ちますが、まだまだ慣れない事、わからない事だらけで、戸惑いながらも周りの先生方、スタッフの方々に助けられて、日々の研修を行うことができています。知識、技術はもちろんのこと、患者さんへの接し方、スタッフの方々への接し方など学ぶことは多々あります。それらの学んだことを一つ一つ吸収して身につけていけるように、謙虚な姿勢で、常に思いやりを忘れずに二年間の研修を頑張りたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。
平成 19 年 6 月 30 日改訂

權 齋増 昭和大学卒業
7 月 麻酔科
8 月 同上

この度、北部病院で研修をさせていただくことになりました、權 齋増と申します。私は、北部病院から徒歩 1 5 分ほどのところに住んでおりまして、北部病院を建設中の頃から見てきました。少しでも地元の役に立ちたいと思いがあり、是非北部病院で働きたいと願ってましたが、やっと研修という形で、夢に一步近づいたところです。もちろん、地元の方以外の方も沢山いらっしゃることは、十分承知しておりますが、ぜひ、緑が多いこの町を気に入ってくだされば、と思います。これから関わる皆様には、ご迷惑をおかけしないよう努めていくつもりですが、至らない点が多々あるかと思えます。そのような時は、是非ご指摘いただきたいと考えております。それは、皆様のご指摘こそが、求めてゆくべき医師像を形成すると考えているからです。これからの 2 年間、北部病院の理念を胸に刻みつつ、一つ一つのことに真摯に向かい合っていくつもりですので、皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

関 香代子 昭和大学卒業
7 月 内科
8 月 麻酔科

はじめまして、昭和大学出身の関 香代子と申します。大学時代はゴルフ部に所属し練習に励んでおりました。現在は総合内科をローテーションしております。研修が始まったばかりで分からないことも多く、スタッフの方々にはご迷惑をおかけしてばかりですが、いろいろなかことを一から教えていただき毎日多くのことを学ばせていただいております。これからの研修期間で、知識や技術などを身につけ、北部病院のスタッフとして少しでもお役に立てるよう努力していきたいと思っております。まだまだ未熟な点ばかりですが、一生懸命頑張っていくのでご指導のほどよろしくお願ひいたします。

田所 梨枝 日本大学卒業
7 月 呼吸器センター(外)
8 月 同上

はじめまして。研修医 1 年目の田所梨枝(たどころりえ)と申します。日本大学出身ですが、川崎市で生まれ育ち、馴染みのある昭和大学横浜市北部病院で研修できることを嬉しく思い、感謝しております。学生時代は軟式テニスをしておりました。現在は循環器センター(内科)をまわっております。その後、呼吸器センター(外科)、救急、麻酔科、内科をまわります。まだ慣れないことも多く、ご迷惑をおかけしますが、一生懸命がんばりますので宜しくお願ひ致します。

今野 暁子 昭和大学卒業
7 月 麻酔科
8 月 同上

皆さま、初めまして。昭和大学出身の、今野暁子と申します。出身地は山形県ですが、中学・高校時代を過ごした親しみのある横浜市で研修させて頂けることを、たいへん嬉しく思っております。2 年間の研修期間で、医師として成長することはもちろん、人としても成長できるよう、日々努力して参りたいと思っております。何をするにしても至らず、皆さまには多大なご迷惑をおかけすると思ひますが、ご指導よろしくお願ひ致します。

武重 由依 昭和大学卒業
7 月 救急センター
8 月 同上

はじめまして、昭和大学出身の武重由依と申します。大学時代は学業以外に野球部のマネージャーと、趣味のフラダンスをして過ごしていました。これまでの勉強や 手技を学ぶ実習では、自分のために...という気持ちでいたことがほとんどでした。でもこれからは 北部病院の一研修医として、患者様 先生方 スタッフの皆様 同期の間、いつも誰かのためを思って医療を提供していける様に、日々、成長していきたいと思っております。慣れない臨床の場に出たばかりで、緊張の連続、ご迷惑をおかけすることも少なくありません。そんな中、皆様に支えられ、ご指導いただき、感謝感謝の毎日です。至らない点もたくさんありますが 一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

田辺 彩夏 昭和大学卒業
7 月 救急センター
8 月 同上

北部病院で研修させて頂く田辺彩夏と申します。6 年生の時に 1 ヶ月実習をして、この病院で働きたいと思いました。まだ電子カルテの使い方や手技など、慣れないことばかりです。先生方やスタッフの方々に助けられながら、患者さまに励まされながら、日々多くの経験をさせて頂いています。最近では出来る手技も少しずつ増えてゆき、医師としての責任を実感する毎日です。これからご迷惑をおかけすると思ひますが、一つひとつ丁寧に吸収していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	
呼吸器センター	佐藤庸子(初診)	鹿間裕介(初診)	中島宏昭(紹介初診)	医局員(初診)	神尾義人(初診)	鹿間裕介(初診)	鹿間裕介(初診)	笠原慶太(初診)	北見明彦(初診)	栗生和幸(初診)	医局員(初診)	
	鹿間裕介(再)	笠原慶太(再)	笠原慶太(初)	中島宏昭(再)		北見明彦(再)		神尾義人(再)	中島宏昭(再)	中島宏昭(再)		
	北見明彦(再)	栗生和幸(再)	鹿間裕介(再)						笠原慶太(再)	佐藤庸子(再)		
消化器センター	医局員	大塚和朗	田中淳一	辰川貴志子(第 1,3)	請川淳一	請川淳一	里館 均	里館 均	大塚和朗	大塚和朗	医局員	
	小林泰俊	小林泰俊	井上晴洋	井上晴洋	水野研一	水野研一	長山裕之	長山裕之	為我井芳郎(1)	春日井尚	木田裕之	
	斎藤由理	出口義雄	櫻田博史	櫻田博史	医局員	遠藤俊吾	池原伸直	池原伸直	医局員	児玉健太		
	山村冬彦	山村冬彦	工藤進英	近藤純史	日高英二	医局員	宮地英行	宮地英行	細谷寿久	細谷寿久		
			医局員	永島美樹	若下方彰(2)		工藤進英(特診)					
循環器センター	磯村直栄		落合正彦		小原千明		荒木 浩		芦田和博	伊藤篤志(心臓血管外科)	医局員	
		伊藤篤志(心臓血管外科)	斉藤重男	星本剛一		石野幸三(心臓外科)	藤倉寿則	御子柴幸		西巻博(第 3)		
			上村 茂(先天性心疾患)			黒子洋介(血管外科)	富田 英(先天性心疾患)		上村 茂(先天性心疾患)			
メンタルケア(初)	工藤行夫(精神全般統合失調症)		伊川太郎(精神全般うつ病)		堀 宏治(精神全般物忘れ初診)	堀 宏治	西岡玄太郎(精神全般うつ病)		吉益晴夫(精神全般記憶障害・パニック症)		青山 洋(精神全般統合失調症)	
メンタルケア(再)	板垣太郎		秋元洋一		西岡玄太郎		吉益晴夫		工藤行夫		堀 宏治	
メンタルケア(再)	谷 将之		富岡 大		内田充彦		黒澤剛二		青山 洋		常岡俊昭	
メンタルケア(再)			青木麻梨		伊川太郎						医局員	
内科(22-5)		高橋 健(内科腎臓)										
内科(23-2)	宮下耕一郎(内科)	山本真寛(内科)	中澤あい(内科)	宮下耕一郎(内科)	菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)	中澤あい(内科)	熊田千晶(内科)	菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)	
内科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	福井俊哉(記憶認知)			衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	山本真寛(内科)	川崎仁志(内科神経)	医局員	
内科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)	熊田千晶(内科)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)	
内科(25-1)	菊池雷太(内科神経)		斉藤佑介(内科)	中山文義(腎)第 1 火休診	菊池雷太(内科神経)		吉田典世(内科)		滝西安隆(内科)		大野恭史(内科)	
内科(25-2)		井上 稔(内分泌・代謝)			木村 聡(内科・感染症)						医局員	
内科(25-3)	田口 進(内科消化器)	小林功治(内科)	内田奈名子(内科)			小林功治(内科)	田口 進(内科消化器)				渡邊浩之(1,3 内科)	
内科(25-5)	荏原 徹(糖尿病、内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)		荏原 徹(糖尿病、内分泌)		嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	荏原 徹(糖尿病、内分泌)	富田高重(第 1 内科消化器)	荏原 徹(糖尿病、内分泌)	
内科(25-6)	竹島亜希子(内科)	伊東友弘(内科腫瘍)		大野恭史(内科)	女性専門外来(予約のみ)	伊東友弘(内科腫瘍)	緒方浩顕(内科腎臓)	成島道昭(内科)	伊東友弘(第 4 休診 内科腫瘍)	緒方浩顕(内科腎臓)	緒方浩顕(内科腎臓)	
内科(25-7)		成島道昭(内科)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)		辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)		辻 正富(糖尿病、内分泌)	
小児科	野中善治	神経外来	梅田 陽	乳児検診	北澤重孝	心臓外来	野中善治	成育外来	梅田 陽	乳児検診	医局員	
小児科	曾我恭司	予防接種	曾我恭司	フォローアップ 外来	梅田 陽	腎臓外来(1,3,4)	曾我恭司	アレルギー 外来	松岡 孝	フォローアップ 外来	医局員	
小児科	北澤重孝		野中善治	血液内科(4) 心理相談	京田学是		井上真理	口腔発達(2,3) 心理相談	京田学是	上村茂(心臓)	医局員	
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英(奇) 医局員(偶)	
皮膚科(初 16-3)	松村卓美		宋 寅傑		相楽 玲		三井湖麻江		宋 寅傑		医局員	
皮膚科(再 16-1)	宋 寅傑									光線療法外来		
皮膚科(再 16-2)	佐々木雅美	外科手術	三井湖麻江	外来手術	三井湖麻江	外科手術		外来手術	相楽 玲	外来手術	医局員	
皮膚科(再 16-2)	三井湖麻江		松村卓美			松村卓美			松村卓美			
外科	中村明央		新井一成	杉本啓一(3)	新井一成		新井一成	新井一成	中村明央	井関雅一(偶) 岩波正英(3)	岩波正英(第 2,4)	中村明央(奇) 新井一成(偶)
外科	梶澤由博(3)		福成信博		山崎智巳		梶澤由博	兼坂 茂(予約のみ)	福成信博		梶澤由博(奇) 山崎智巳(偶)	
外科	福成信博(1,2,4 初)											
形成外科	大塚尚治	美容外科ヒールリジ	医師限定		大塚尚治		医師限定		高木信介		高木信介(奇) 大塚尚治(偶)	
外科(緩和ケア)						新井一成					中村明央	
脳神経外科(初再診)	池田尚人	(診断書外来)	【手術日】		池田尚人	(退院後外来)	飯田昌孝		池田尚人		飯田昌孝 池田尚人(偶) 池田尚人(奇)	
脳神経外科	村上幸三				村上幸三				予 診			
整形外科	医局員(初診外来)	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員 古根(2,4)	逸見範幸	医局員	医局員	
整形外科	上原大志	ギブス診 予約のみ	三雲 仁		清家直人	ギブス診 予約のみ	三雲 仁		定方博史		医局員	
整形外科	川崎恵吉		石田将也		定方博史		川崎恵吉		石田将也			
産婦人科初診(12-7)	佐々木康(奇) 安藤直子(偶)		高橋 諱		高橋 諱		小塚和人		小川公一		医局員	
産婦人科産科(12-1)	近藤哲郎		小川公一	小山壽美江	栗城亜具里		佐々木康		清河 翠			
産婦人科産科(12-6)	小谷美帆子			特殊診 予約のみ			安藤直子			特殊診 予約のみ		
産婦人科産科(12-8)	小川公一		安藤直子	特殊診 予約のみ	佐々木康		高橋 諱		栗城亜具里	特殊診 予約のみ	医局員	
産婦人科産科(12-6)			近藤哲郎		清河 翠				小谷美帆子			
泌尿器科(初診 11-1)	椎木一彦	椎木(検査) 予約のみ	青木慶一郎		菅原 草	深澤(再診) 予約のみ	井上克己	佐藤直也(奇) 鈴木俊一(偶)	島田 誠		医局員(初再診)	
泌尿器科(再診 11-3)	島田 誠	島田(女性外来) 予約のみ	菅原 草		青木慶一郎		椎木一彦	菅原(検査) 予約のみ	井上克己	丸山邦隆 予約のみ		
泌尿器科(検査 11-5)		特殊検査 予約のみ						特殊検査 予約のみ				
眼科	井上吐州	特殊診(井上)	小池正直	特殊診(荻野)	井上吐州		小池正直	特殊診(小池)	井上吐州		小池正直(奇) 荻野 大(偶)	
眼科	荻野 大		荻野 大	フォローアップ(小倉)	小倉寛嗣		小倉寛嗣	特殊診(小倉)	荻野 大	特殊診(荻野)	小倉寛嗣(偶)	
眼科	嶋田撰也	特殊診(嶋田)	嶋田撰也		嶋田撰也	特殊診(嶋田)	小倉寛嗣		嶋田撰也	特殊診(嶋田)	小倉寛嗣(偶)	
耳鼻咽喉科 13-1	門倉義幸(初診)	腫瘍甲狀腺外来 予約のみ	医局員(紹介初診)		医局員(初診)		油井健史(初診)	いびき外来 予約のみ	医局員(初診)		医局員(初診)	
耳鼻咽喉科 13-2							門倉義幸(再)					
耳鼻咽喉科 13-3			歯科装具(1)				石田 良(再)					
耳鼻咽喉科 13-3	油井健史(再診)					補聴器外来 K 予約のみ		補聴器外来 予約のみ N				

放射線治療の外来日は、月火木金： 馳澤憲二医師です。

リハビリ科外来日は、火曜日午後： 真野英寿医師です。

奇 = 奇数週 偶 = 偶数集 数字 = 診察日 週

平成19年度臨床研修医紹介

平成19年度が始まり、新たに昭和大学横浜市北部病院で研修する23名の若者たちを迎えることになりました。平成16年度に始まった新臨床研修制度も色々と批判のある中で4年目を迎え、いわゆる屋根瓦方式の礎を築きつつあります。これまで当院で初期臨床研修を希望し入職した研修医は総勢82名おりますが、平成16年、17年度と初期臨床研修2年間を無事終了した39名の内、その後subspecialtyを身につけるべく、院内に引き続き残って現在も研鑽している者は21名、また初期研修を他病院で終え、新たに当院での仕事を開始した卒後3年目の者も7名おります。多くの大学から多くの研修医を迎い入れ、混ざり合う中でお互いを切磋琢磨し、大いに刺激しあうことはこの研修医制度の目指すところであり、それが病院の底力となっていくのでしょう。新臨床研修医の諸君を見る世間の目は厳しいでしょうが、病院スタッフ全員に温かい目で迎え入れてもらえるよう、身を引き締めて研修に望んで下さい。今年開院7年目を迎える当院は、君たちが初期臨床研修を終了する頃には開院10年を間近に控える時期となります。当院が今後どのように発展していくのかは君たちの双肩にかかっていると書いても言い過ぎではないでしょう。どうか“昭和の希望の星”となるべく充実した研修生活を送って下さい。 昭和大学医学部教育委員会委員 成島 道昭

表の見かた

研修医 顔写真	研修医氏名	出身大学
		7月研修先診療科 8月研修先診療科
自己紹介文		

酒井 健	聖マリアナ医科大学卒業 7月 麻酔科 8月 救急センター
初めまして、聖マリアナ医科大学出身の酒井健と申します。現在は放射線科をローテーションさせて頂いております。研修が始まって数週間経ちましたが、指導医の先生や上級医の先生方に造影剤の注射や、読影のポイントなどを熱心にご指導して頂き、日々、多くのことを学ばせて頂いております。このような熱心な先生方や親切なスタッフのいらっしゃる北部病院で研修できて本当によかったと思っております。まだまだ知識も技術も未熟なため、先生方や病院のスタッフの皆さまにはご迷惑をおかけしてしまうと思いますが、一つ一つ出来ることを確実に増やしていき、少しでも患者さんや北部病院の力になれるよう努力して参りますのでご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。	

遠武 孝祐	埼玉医科大学卒業 7月 救急センター 8月 画像/緩和
埼玉医科大学出身の遠武孝祐といたします。外科コースで研修を行なっておりまして現在救急センターにて3ヶ月お世話になっております。みずがめ座のA型でまだまだ勉強不足な半人前です。日々勉強し諸先生方の足手まといにならないように修行していきたいと思っています。また自分の今後についてはまだまだ悩み中で、2年間必死に考え、感じて決めていきたいと考えています。まだまだ至らない点が山ほどあると思いますが御指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。	

貫川 和愛	昭和大学卒業 7月 麻酔科 8月 消化器センター(外)
研修がスタートして一ヶ月が過ぎました。慣れない環境、仕事に戸惑う事だらけの毎日でしたが、縁あって知り合うこととなったこの街の人々の温かさに触れ、今では居心地の良いこの場所で過ごす毎日がとてもかけがえのないもののように感じられます。特に都筑中央公園のてっぺんから見る星空はとても素敵です。そんなこの地域の中で、研修医とはいえ医師としてやって来た自分にどんな役割が果たせるのか、そして果たしたいのか、日々自問精進を重ねた末に何らかの結果が残せれば幸いと考えています。医師、社会人として右も左も分らず御迷惑をかけることの方がはるかに多いと思いますが、一生懸命、心を込めて頑張ります、よろしく申し上げます。	

鈴鹿 綾子	昭和大学卒業 7月 救急センター 8月 緩和/画像
はじめまして。昭和大学卒の鈴鹿綾子と申します。大学で6年生の時に1ヶ月間実習をしてこの病院で研修をしたいと思いました。実家は田園都市線沿線にあり、なじみのあるこの地域で研修が出来ることをとても嬉しく思っています。現在は救急センターで研修しています。病棟では初めての経験ばかりであつという間に1日が過ぎていきます。先生方や多くのスタッフの方々に支えられ、日々学ぶことが多く充実した毎日を過ごしております。まだまだ分からないことが多く、これからもご迷惑をおかけすることがあると思いますが、少しでも多くのことを吸収出来るように努力していきたいと思ひます。患者様に信頼されるような医師になることを目標に、多くのことを学びたいと思ひます。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。	

中村 大樹	昭和大学卒業 7月 消化器センター(外) 8月 内科
はじめまして。中村大樹と申します。生まれも育ちも長野県です。現在消化器センターローテート中で、その後総合内科を回らせていただく予定です。本格的に研修が始まり、まだ1週間ですが、学生時代にはない医師としての責任の重さ、またやりがいを感じております。今のところ、まったく何も出来ない未熟者ですが、どうぞよろしくお願いいたします。	

中村 裕介	昭和大学卒業 7月 消化器センター(内) 8月 外科
はじめまして、昭和大学出身、研修医1年目の中村裕介と申します。この4月から昭和大学横浜市北部病院で臨床研修をスタートすることになりました。臨床研修では基本的な医師のあり方から、経験、知識、技術等さまざまな事を先生はじめ色々な方々から学びたいと思っています。4月からの2年間で先生からの教えの一つでも多く吸収していきたいと思ひます。初めての経験が多く、ご迷惑をおかけする事も多々あると思ひますが、その都度ご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。	

松平 真悟	昭和大学卒業 7月 消化器センター(内) 8月 救急センター
はじめまして。松平真悟といたします。昭和大学医学部出身です。北部病院では、医師として必要な知識や技術だけでなく態度もしっかりとしたものを身につけたいと思っています。要領が悪く不器用なので、先生方をはじめスタッフの方々にはご迷惑をおかけすることも多々あるとは思ひますが、日々研鑽を積んでいきたいと思ひます。「顔の見える」研修医をめざしていますのでよろしくお願いいたします。	

奥村 恵子	愛知医科大学卒業 7月 緩和/画像 8月 呼吸器センター(内)
はじめまして。愛知医科大学出身の奥村恵子と申します。現在は麻酔科をローテーションしております。まだ研修が始まって数週間で、戸惑うことも多く、ご迷惑ばかりおかけしている毎日ですが、一つ一つ出来ることを増やし、確実に吸収していきたいと思っております。そして、少しでも患者様と病院のお役に立てますように努力して参りたいと思ひます。2年間、一生懸命頑張りますので、どうぞご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。	

前田 雄岳	昭和大学卒業 7月 外科 8月 内科
はじめまして、昭和大学出身の前田雄岳(おたか)と申します。研修が始まって1週間を超えましたが、まだまだ学生気分が抜けきれておらず、上級医、同僚、医療スタッフに迷惑をかけている毎日です。第一志望として提出していた北部病院に就職できたことは、非常に光栄で、また身が引き締まる思いです。処置当番も当直も始まっておらず、まだ研修医らしい生活は始まっておりません。それどころか、さしたる勉強もせず国家試験に受かってしまい自分が医師として働いていいのか甚だ疑問ではありますが、自分なりに目標を作ってそれに向かって一所懸命にやっていきたいと思ひますので、宜しくお願ひいたします。	

山下 賢之介	千葉大学卒業 7月 循環器センター(内) 8月 救急センター
はじめまして。千葉大学出身の山下賢之介と申します。現在最初の研修期間を循環器センター内科で過ごしています。既に1週間が経過していますが、身をもって自分の未熟さを痛切に感じる一方で日々新しい事に触れ合う事が出来、新鮮な気持ちで楽しく過ごさせて頂いております。まだまだ至らない事だらけで患者様、指導医の先生方、スタッフの方々にはご迷惑をおかけしていますが、早く皆様のお役に立てる様頑張っていきたいと思ひます。研修は、医師として歩いていく上で基盤となる大事な期間だと考えています。自分の目標とする医師像へ少しでも早く到達出来るよう、一日一日の経験を糧とし、物事を中途半端なままにせず確実に吸収していけるよう積極的に取り組んでいこうと思ひますのでよろしくお願い致します。	

久我 真智子	昭和大学卒業 7月 画像/緩和 8月 内科
はじめまして。研修医一年目、昭和大学出身の久我真智子と申します。現在は麻酔科で研修をしております。先生方、先輩方、スタッフの方々に温かくご指導いただきながら、日々たくさん経験を重ねさせていただいております。これから、患者さまの役に立てる、信頼される誠実な医師になれるよう精一杯努力していくつもりですので、よろしくお願いいたします。	